



神戸フィルハーモニック

Kobe Philharmonic

フィンランド物語

第75回 定期演奏会

シベリウス
JEAN SIBELIUS

交響詩「フィンランディア」 作品26
Finlandia op.26

ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47※
Violin Concerto d moll op.47

交響曲第2番 ニ長調 作品43
Symphonie Nr.2 Ddur op.43



〈指揮〉
朝比奈 千足

Chitaru Asahina

〈ヴァイオリン〉

有希マヌエラ・ヤンケ※

使用楽器(ストラディヴァリウス1736年製『ムント』)

Yuki Manuela Janke

(C)井村 重人

2017 **11.25** (土) **神戸文化ホール・大ホール**
16:00開演(15:30開場)

《ロビーコンサートは、15:40頃を予定しております。》

神戸市営地下鉄/「大倉山駅」下車すぐ、バス/「大倉山停留所」下車すぐ
阪急・阪神・山陽/「高速神戸駅」より徒歩約8分、JR/「神戸駅」より徒歩約10分

入場料:全席自由(消費税込) *誠に勝手ながら就学前のお子様をご遠慮頂いております。ご了承ください。

[一般 2,500円前売](当日3,000円) [大学生以下 1,000円前売](当日1,000円)

【入場券発売】

神戸文化ホールプレイガイド (078-351-3349)

e+(イープラス) <http://eplus.jp>

神戸コンサート協会 (078-805-6351)(FAX予約078-805-6352)

①電話またはFAX予約によるチケット郵送サービス可。

②FAX予約は演奏会名・チケット種別・枚数と名前・住所・電話番号を明記の上、お申し込みください。

●お問い合わせ(公財)神戸市民文化振興財団 (078-351-3597) <http://www.kobe-bunka.jp/>

神戸フィルハーモニック公式HP <http://www.kobephilharmonic.jp/>

神戸フィルハーモニック後援会事務局(080-1519-1183)

■主催/神戸フィルハーモニック・神戸フィルハーモニック後援会・神戸市・(公財)神戸市民文化振興財団



PROFILE

神戸フィルハーモニック

Kobe Philharmonic



神戸市民のオーケストラとして1979年に発足した神戸フィルハーモニックは、幅広い年齢層のファンの方々に支えられて活動を続けています。デビューコンサートをその翌年1月に開催し、以降、年2回の定期演奏会やニューイヤーコンサートを行ってきました。他にも、後援会主催のコンサートや諸団体からの依頼演奏を行うなど、多彩な演奏活動を展開しています。このように、市民の皆様身近に、気楽に楽しんでいただけるよう、低廉で良質なクラシック音楽の魅力

や楽しさを提供し続けてきた活動が評価され、1997年に神戸市文化活動功労賞を受賞しました。また、音楽を通じて青少年の育成やクラシック音楽の普及にも力を注ぎ、バレエや日本舞踊とのコラボレーション、少年少女合唱団や中学校の吹奏楽部との共演など、新たな試みにも積極的にチャレンジしています。そして、音楽活動を通じて国際交流も行っており、1991年にはオーストラリアからクィーンズランド・フィルを迎えて合同演奏会を行い、2010年には神戸市の姉妹都市であるオーストラリアのブリスベンにて、小編成での訪問演奏を行いました。2011年、東日本大震災が日本を襲いましたが、阪神淡路大震災を経験した私たちであるからこそ、復興への思いを寄せ、チャリティーコンサートと南三陸町歌津地区へ訪問し、演奏会や被災された方々との交流を行っています。我々は、これからも、より多くの方々にクラシック音楽に親しんでいただけるよう、日々、演奏活動に励む所存です。

朝比奈 千足(指揮・音楽監督)

Chitaru Asahina



県立神戸高校を経て、慶應義塾大学法学部を卒業。1966年西独ブレーメン市立音楽院に留学し、クラリネットをヘルベルト・カルステンズ氏に、指揮法と作曲理論をヘルムート・シュナッケンブルグ教授に師事。1968年ベルリン音楽大学(現、ベルリン芸術大学)に入学、クラリネットをハインリッヒ・ゴイザー教授に学び、1971年に優秀な成績で同大学を卒業。クラリネットの独奏者として1970年から西ヨーロッパ各地及び日本で幅広く演奏活動を展開。1973年より指揮活動を始め、1977年には渡独し、オットマール・スウィットナー教授の助手として研鑽を積む。大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東ドイツ国立ズール交響楽団他多数多く指揮。大阪文化祭賞、在日外国人記者クラブ賞、神戸市文化奨励賞などを受賞。ラジオのパーソナリティー、サロンコンサートの企画演出・司会などの分野に意欲的に取り組み新しいタイプの指揮者像を確立しつつある。2009年神戸市文化賞を受賞。2015年オーストラリアより名誉会員勲章受章。

有希マヌエラ・ヤンケ(ヴァイオリン)

Yuki Manuela Janke



(©井村 重人)

2007年チャイコフスキー国際コンクール第3位、サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝の栄冠を勝ち得たヴァイオリニスト、有希マヌエラ・ヤンケは、ミュンヘンでドイツ人の父と日本人の母の音楽家一家に生まれ、3歳でヴァイオリンを始めた。幼少時よりその才能を発揮し、9歳でオーケストラデビュー。数々のコンクールで優勝したのち、2004年には、イタリアのジェノバで行われたパガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで最高位(1位なしの2位)を受賞し、国際的なソリストおよび室内楽奏者としてのキャリアをスタートさせた。これまでに、ベルリン放送響、ケルンWDR放送管を始めヨーロッパの数多くのオーケストラと共演、日本に於いても、N響、日本フィルを始め各地のオーケストラから招かれている。また、ドイツ各地を始め、世界の主要都市でリサイタルやコンサートを開催しているほか、多くの音楽祭に招かれている。2012年8月から2年間、シュターツカペレ・ドレスデンでコンサートマスターを務めたのち、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスなど各地のオーケストラにゲストコンサートマスターとして招かれており、シュターツカペレ・ベルリンのコンサートマスターに就任。バレンボイム指揮の下2016年2月には東京サントリーホール、2017年1月にはニューヨーク・カーネギーホールでのブルックナー・ツィクルスにてコンサートマスターを務めた。ザルツブルグ・モーツァルテウムにおいて、イゴール・オジム教授の元で研鑽を積む。日本音楽財団から貸与されているストラディヴァリウス1736年製ヴァイオリン『ムンツ』を使用している。